



いつもお世話になっております。明昌の別当です。また、賑やかな季節がやってきましたね！お店の装飾やパッケージもジャック・オ・ランタン一色です。そして私もハロウィンと共に歳をとりますが来年はもっと成長出来るように印刷、インキ、版などについて勉強していきたいと思っております。お客様に良い情報を届けられるように頑張っていきますので引き続きご教授の程、宜しくお願い致します。

印版メーカー様に教えて頂きました

～ 版の豆知識！ 冬場編 ～

冬本番となる前に対策頂きたいとの思いから夏場に引き続き、印版メーカー様に段ボール向けの冬場に多いトラブルをお伺い致しました。印版のトラブル発生が多いのはやはり夏場が多い様ですが、今回はお伺いした年間通してお気をつけ頂きたいことと冬場に知っておいて欲しい版の豆知識をお伝え致します。

【年間通してお気をつけ頂きたいこと】

① 紫外線は禁物です!!

樹脂版は紫外線による化学変化で合成されていますので、冬場でも日光にあると化学変化を起こし劣化の要因となります。日光のあたる場所を避けての保管をお願いします。

② 印版洗浄の注意!!

印刷終了後は印版をそのままにしておくとし、インキが固化してしまい、版が痛んでしまう原因となります。ですので、印刷終了後はできる限り早く印版洗浄を実施頂くようお願い致します。

もしすぐに洗浄が出来ない場合は弊社の印版洗浄剤「ニュープレートクリーン NS」を吹きかけて頂くだけでも違いますよ！

【注意】印版洗浄時の水温が低いと、樹脂版についたインキが落ちにくいいため強い洗浄剤を現場で使われるお客様がいらっしゃいます。それにより、樹脂版を痛めることがあります。必ず印版用の洗浄剤を使用して下さい。可能であれば水温を調整してください。

【冬場に知っておいて欲しい版の豆知識！】 ※印版の最適条件は常温 10～30℃ 湿度 40～60%です。

気温が低すぎると下記のようなことも起こる可能性があるようです…。冬場の環境下(気温 5 度以下)で印版を保管すると劣化を促進することがあります。これは、樹脂版を合成している化学成分が低温で分離することがあるためです。(※化学物質により凝固点は違います)現象としては、表面に凝固点の低い成分が流出し、それによりインキが乗りにくいことがあります。一時的には版表面をふき取ることで多少は解消しますが、根本的に樹脂版の成分バランスが大きく崩れていますので、ヒビが入る、欠けるなどの現象が起こります。※印版の種類によっても違うようですのであくまでも可能性です。

対処法をお伝えしたいところですが、これについては…印版を新しく作り変えるしかないようです。(；_；)

もし上記の現象が起こった場合は一度印版メーカー様にご相談をお願い致します!!

印版洗浄には「ニュープレートクリーンNS」を御使用下さい!!

印版についての豆知識を知ったところで明昌からは印版用洗浄剤の『ニュープレートクリーン NS』(20kg @10,000)をご紹介します!!印版メーカー様でもテストを行って頂き、樹脂版やゴム版にも御使用頂け、洗浄力には高評価を頂いております。ご使用方法は印版洗浄機の洗浄剤を入れる部分に NS を入れて印版を洗浄機に通して頂くか、印刷終了後にスプレー容器に入れた NS を吹きかけ、水洗浄を行って頂くようお願い致します。アラウ S 型を組み合わせることでより一層、洗浄効果も上がります! ※S 型ブラシを導入しているお客様は P.P 型をご購入下さい。



フレキシソ印刷と共に69年～明日を見つめて 明日を拓く～



明昌株式会社

<http://www.meisho-c.co.jp>

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-14-10(阪急電車・南方駅から徒歩1分)

TEL:06-6304-8340 FAX:06-6305-6788 E-mail:ask@meisho-c.co.jp

